



林野庁 北海道森林管理局 根釧東部森林管理署

チュプカの森から

※ チュプカ (cup-ka) とは、アイヌ語で「日の出る方角」「東」という意味です。

JICAによるEco-DRR教材作りに協力

Eco-DRRとは、「生態系を活用した防災・減災」

(Ecosystem-based Disaster Risk Reduction) の略で、生態系の有する様々な防災・減災機能を発揮させることで、自然災害リスクの軽減とともに、地域社会の発展や生物多様性の保全等にもつなげていく取組のことです。(独)国際協力機構(JICA)では、我が国におけるEco-DRRの取組を海外に紹介するための映像資料を作成しています。

題材の一つとして根釧台地の格子状防風林が取り上げられ、受託したコンサルタント会社からの依頼により、根釧東部森林管理署でも取材に協力しました。当署署長より、格子状防風林が、その有する防風・防霧機能により地域の人々の暮らしや農業を守ってきたことや、地域の景観を形作っていること、野生生物の生息の場にもなっていることを説明しました。



上空から見た格子状防風林
(中標津空港発の飛行機の窓より)



インタビューを受ける当署署長



オンネニクルの森に行くネイチャークラブの方々
(入林には届出が必要です。)



剪定バサミで刈って、紙袋に入れて回収。
トゲが痛くて触れません。革手袋が必須です。

野付半島のアメリカオニアザミ駆除

アメリカオニアザミは、ヨーロッパ原産(アメリカ原産ではありません!)の外来種です。鋭いトゲがあります。在来種と競合することから、生態系被害防止外来種に選定されています。

野付半島ネイチャークラブ・野付半島ネイチャーセンターでは、2年前からアメリカオニアザミを駆除しています。8月29日に行われた駆除活動に、根釧東部森林管理署からも参加しました。継続的に駆除することにより、だいぶ減ってきているとのことでした。

「緑の募金」にご協力を!

9月1日から10月31日まで、秋の「緑の募金キャンペーン」が展開されています。根釧東部森林管理署のカウンターにも募金箱を置き、「緑の羽根」をお配りしています。この募金は、ボランティア団体による森林づくり活動等に使われています。ぜひ、ご協力ください!



マスコットキャラクター
「どんぐりくん」の募金箱

〒086-1652 北海道標津郡標津町南2条西2丁目1番16号

TEL 0153-82-2202 (代表) FAX 0153-82-2284

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/introduction/gaiyou_syo/konsentoubu/index.html
